

教育推進部教育指導課

令和2年度学校評価の報告について

- 学校評価は、「学校運営の改善を目指し、教育水準の向上を図る」ことを目的とし、各学校園が、自校(園)の教育活動その他の学校運営の状況について、以下のとおり評価を行い、その結果に基づき必要な措置を講ずることが、平成19年改正された学校教育法、同法施行規則に示されている。
 - ①教職員による自己評価を行い、その結果を公表すること
 - ②学校の自己評価について保護者などの学校の関係者による評価(「学校関係者評価」)を行うとともにその結果を公表するよう努めること
 - ③自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者に報告すること

- 文京区教育委員会では、法改正に基づき平成20年度より学校評価を実施している。平成21年4月に「文京区立学校関係者評価委員会設置要綱」を定め、「学校関係者評価委員会」を組織して、学校関係者評価を実施することとした。平成22年度には、各学校からの学校評価報告とともに、区全体の状況を把握するための参考として、学校関係者評価に区共通項目を策定した。

- ここに、令和2年度学校評価の集計結果を示すとともに、学校支援の具体的な手立てを講じて、教育施策の実行状況や進展状況を把握する資料とする。

別紙1 令和2年度学校関係者評価共通項目（集計結果）

(園)

幼稚園		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.85	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.84	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんに行われているか）	10	0	0	0	3.77	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	10	0	0	0	3.74	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	10	0	0	0	3.78	A

(校)

小学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	20	0	0	0	3.82	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	19	1	0	0	3.82	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんに行われているか）	18	2	0	0	3.68	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	17	3	0	0	3.63	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	18	2	0	0	3.76	A

(校)

中学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.85	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	8	2	0	0	3.74	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんに行われているか）	7	3	0	0	3.61	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	7	3	0	0	3.57	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	9	0	1	0	3.60	A

※各関係者評価委員が4段階で評価した学校(園)の平均値を下記の基準をもとにABCDの4段階で評定したもの。
 (A: 4~3.4以上、B: 3.4未満~2.6以上、C: 2.6未満~1.8以上、D: 1.8未満)

別紙2 令和2年度 保護者アンケート(区共通項目)集計結果

	質問項目	幼稚園				
		とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
1	本校(園)の教育活動に満足している。	66.1%	31.2%	1.4%	0.1%	1.2%
2	本校(園)の子どもたちは、学校での生活が楽しいと感じている。	73.8%	24.5%	0.7%	0.0%	1.0%
3	本校(園)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	67.0%	28.4%	1.2%	0.6%	2.9%
4	本校(園)は、特色ある校(園)づくりに積極的に取り組んでいる。	53.7%	35.1%	4.5%	0.3%	6.4%
5	本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】	/	/	/	/	/
	本園は、一人一人の幼児理解に努め、適切な保育に努めている。【幼稚園】	63.6%	31.8%	1.0%	0.6%	2.3%
6	本校は、日頃よりいじめの未然防止に適切に取り組むとともに、学校生活で起きたいじめ等の問題(本園は、園の生活で起きた子ども同士のトラブル)に対して、素早く丁寧に対応している。	56.1%	32.4%	2.0%	0.3%	9.2%
7	本校(園)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	65.1%	31.0%	1.5%	0.2%	2.6%
8	本校(園)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	54.6%	37.6%	3.5%	0.5%	3.6%
9	本校(園)は、区や学校の方針等に対する保護者の意見をよく聞き、保護者と協力して教育を進めようとしている。	51.7%	37.8%	3.4%	0.7%	5.9%
10	来校時や電話での本校(園)の教職員のあいさつや対応は、適切である。	76.7%	21.3%	1.1%	0.2%	0.6%
11	現在の本園の教育・環境に総合的に満足している。(幼稚園のみ)	65.6%	31.1%	2.1%	0.3%	0.9%

	質問項目	小学校				
		とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
		43.9%	49.4%	3.5%	0.7%	2.1%
		52.2%	40.8%	4.0%	0.9%	1.9%
		40.2%	47.2%	4.3%	0.7%	7.1%
		42.8%	43.6%	6.4%	0.8%	6.2%
		43.3%	46.8%	3.0%	0.5%	6.3%
		/	/	/	/	/
		31.7%	38.5%	4.7%	0.9%	23.9%
		48.1%	44.5%	2.3%	0.5%	4.4%
		44.3%	44.8%	6.4%	0.7%	3.6%
		38.1%	44.5%	5.4%	0.8%	10.9%
		67.1%	29.5%	1.6%	0.3%	1.1%
		/	/	/	/	/

	質問項目	中学校				
		とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
		33.2%	56.7%	5.1%	1.0%	2.8%
		36.3%	51.5%	4.4%	1.0%	5.5%
		31.9%	51.7%	5.6%	1.2%	8.4%
		25.8%	47.1%	12.2%	1.1%	12.5%
		20.7%	51.9%	9.8%	1.3%	15.1%
		/	/	/	/	/
		23.9%	35.7%	5.5%	1.1%	32.7%
		35.3%	50.9%	3.2%	0.4%	8.9%
		34.6%	50.5%	7.5%	0.8%	5.1%
		30.1%	48.6%	7.1%	1.3%	11.6%
		57.3%	36.0%	3.0%	0.4%	2.1%
		/	/	/	/	/

※ 数値は、各学校の平均値

幼稚園	家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、地域・保護者との交流が少ない中でもよく取り組んでいると思う。可能な限り保護者が関われる機会をつくってもらえたことはありがたかった。 ・今年度は地域での町会行事、健全育成会の行事も少なく、保育園、小中学校との交流もほとんどできなかった。感染症が落ち着いたら、様々な交流を復活させてほしい。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも毎月避難訓練を行い、中学校校庭までの避難訓練も実施したのはよかったと思う。今後も計画的に進めてほしい。 ・感染症対策はいろいろ大変だと思うが、そのおかげでインフルエンザの感染が少ないので、日頃の対策の効果が認められるなど、よいこともあった。
	教職員連携	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が一人一人の理解を図り日々情報を共有していくことが安全・安心な環境をつくっていくと感じた。また、園庭で遊んでいる様子を見ても教職員が子どもたちをしっかりと見守っており、チーム力のおかげと思う。 ・教育内容を工夫し教職員の皆さんが協力して頑張っていることが保護者に伝わり、高い評価につながった。 ・感染症対策という難しい時期でも、課題をしっかりと認識し、幼児教育に取り組んでいた。
小学校	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の自己評価を見ると、コロナ禍で本来できるはずだった指導ができなかったことで評価を下げているように見受けられる。しかし、この状況でも前向きに取り組んだことや、新たに実施したことなど、教育を充実させる取組があった。 ・自力解決の時間の確保や、考えを表現する機会を多くしている点が良いと思う。今後は、1人1台のタブレットの活用を工夫し、充実させ、学力向上につながることを期待する。
	豊かな心・人間性・感性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、学校運営が大幅に制約を受け、難しい対応が課せられる中、校長はじめ教職員のすべての方々が、真摯に児童に向き合い、誠心誠意努力された経緯・結果が各評価項目に表れている。コロナ禍の状況だからこそ、アサーションや読書活動の充実が必要である ・他者に対する共感を基盤としたきめ細やかな指導を徹底しており、保護者からは子どもの人権に配慮した指導を行っている点を高く評価されている。わずかなじめの認知件数に対しても、学校として見過ごせぬ重大な問題として自覚しており、引き続き子どもの人間関係のよりよい構築に向けた努力に期待したい。 ・コロナ禍のなか、マスクで表情が隠れる悪条件を克服して「返事、挨拶、ありがとう、後始末」の評価が向上したことは注目すべき変化である。これをさらに伸ばすためにも学級経営の工夫である「hyper-QU」の十分な教員研修にもとづく効果的な活用を期待したい。
	家庭の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの回収率の高さは、学校教育への期待の高さの表れであろう。教職員のきめ細かな対応が保護者の信頼を得ていることがよい。 ・書道特別講師を招き、授業を組んでいくのは、計画や準備がたいへんだと思う。今後も地域の素晴らしい方々に声をかけて、子どもたちの教育に生かして欲しい。
中学校	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大という特殊事情を考慮すべきであるが、健康・体力づくりへのより積極的な取組や、予習・復習などの学習習慣については、次年度の改善課題として挙げられる。 ・生徒のわかる喜びや学ぶ意欲に関して、感染防止対策のなかで、ICT活用授業のわかりやすさ92%、先生の説明や指示のわかりやすさも5教科で90%前後と、教育の「質」が維持できたことは、授業の工夫と実践が伴った結果として高く評価できる。
	信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における学校の多様な取り組みに対し、委員からは学校に対する高い信頼の声が出ている。情報発信に関してTwitterよりはウェブサイトを活用すべきという意見があった。 ・今年度はイベントなどがなかったが、再開した際には地域の行事等にどんどん参加してほしい。また、そのようなイベントを継続することで、地域との連携が強くなると思う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、新年度2ヶ月余り休校になったが、学校の活動全般にわたって前向きに工夫して取り組んでいた。
	豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体のイベントの実施は、良き伝統になりつつあることを確認することができた。それらを通じて生徒一人ひとりの自己肯定感を養うことは、大変に素晴らしいことである。 ・いのちと心の教育を充実させ、保護者から高い肯定的評価を得ている。教員の日々の努力も評価されている。 ・コロナ禍である以上、今までと同じような友達とのふれあいなど難しいと思うが、新しい形の心と心のふれあいができるような新しい機会を検討していただきたい。